

【タイムスケジュール】

シンポジウム 終末期医療、安楽死・尊厳死に関する総合的研究

日 程: 2019年10月5日(土)・6日(日)
場 所: 中央大学 駿河台記念館 285号室

【2019年10月5日】

Start	end	(min.)	受付	10:00~
開会式				
10:30	10:40	0:10	開会の挨拶	伊藤 壽英(ITO, Hisaei)(日本比較法研究所・所長)
10:40	10:50	0:10	祝辞	Jan Grotheer(ヤン・グロテアー)(DJJV・会長)
10:50	11:00	0:10	挨拶	只木 誠(TADAKI, Makoto)(中央大学・教授)
1. Session: 終末期医療における人間の尊厳				
11:00	11:30	0:30	報告	高橋 直哉(TAKAHASHI, Naoya)(中央大学・教授)
11:30	12:00	0:30	報告	Ludger Honnefelder(ルトガー・ホネフェルダー)(ボン大学・名誉教授)
12:00	12:10	0:10	コメント	古田 裕清(FURUTA, Hirokiyo)(中央大学・教授)
12:10	12:30	0:20	討議/司会	Eric Hilgendorf(エリック・ヒルゲンドルフ)(ヴェルツブルク大学・教授)
12:30	14:00	1:30	(昼休み)	
2. Session: 治療中止とその正当化要件				
14:00	14:30	0:30	報告	井田 良(IDA, Makoto)(中央大学・教授)
14:30	15:00	0:30	報告	Eric Hilgendorf(エリック・ヒルゲンドルフ)(ヴェルツブルク大学・教授)
15:00	15:10	0:10	コメント	天田 悠(AMADA, Yu)(香川大学・准教授)
15:10	15:30	0:20	討議/司会	Henning Rosenau(ヘニング・ロゼナウ)(ハレ大学・教授)
15:30	15:50	0:20	(コーヒーブレイク)	
3. Session: 積極的臨死介助				
15:50	16:20	0:30	報告	佐伯 仁志(SAEKI, Hitoshi)(東京大学・教授)
16:20	16:50	0:30	報告	Henning Rosenau(ヘニング・ロゼナウ)(ハレ大学・教授)
16:50	17:00	0:10	コメント	畷本 恭子(UNEMOTO, Kyoko)(日本医科大学多摩永山病院救命救急センター・センター長)
17:00	17:20	0:20	討議/司会	Brigitte Tag(ブリギッテ・ターク)(チューリヒ大学・教授)
【2019年10月6日】				
				受付 9:30~
4. Session: 患者の指示書(リビングウィル)と自己決定権				
10:00	10:30	0:30	報告	甲斐 克則(KAI, Katsunori)(早稲田大学・教授)
10:30	11:00	0:30	報告	Karsten Gaede(カーステン・ゲーデ)(ブツェリウス・ロースクール・教授)
11:00	11:10	0:10	コメント	Melanie Steuer(メラニー・シュトイヤー)(ゲッティンゲン大学・助手)
11:10	11:30	0:20	討議/司会	石山 文彦(ISHIYAMA, Fumihiko)(中央大学・教授)
11:30	13:00	1:30	(昼休み)	
5. Session: 終末期医療における諸問題				
13:00	13:30	0:30	報告	高山 佳奈子(TAKAYAMA, Kanako)(京都大学・教授)
13:30	14:00	0:30	報告	Gunnar Duttge(グンナー・デュトゲ)(ゲッティンゲン大学・教授)
14:00	14:10	0:10	コメント	富川 雅満(TOMIKAWA, Masamitsu)(九州大学・准教授)
14:10	14:30	0:20	討議/司会	鈴木 彰雄(SUZUKI, Akiyo)(中央大学・教授)
14:30	14:50	0:20	(コーヒーブレイク)	
6. Session: 臨死介助協会とわが国の対応				
14:50	15:20	0:30	報告	只木 誠(TADAKI, Makoto)(中央大学・教授)
15:20	15:50	0:30	報告	Brigitte Tag(ブリギッテ・ターク)(チューリヒ大学・教授)
15:50	16:00	0:10	コメント	Liane Wörner(リアーネ・ヴェルナー)(コンスタンツ大学・教授)
16:00	16:20	0:20	討議/司会	曲田 統(MAGATA, Osamu)(中央大学・教授)
16:20	16:30	0:10	休憩	
総括				
16:30	16:45	0:15	松田 純(MATSUDA, Jun)(静岡大学・特任教授)	
16:45	17:00	0:15	横田 裕行(YOKOTA, Hiroyuki)(日本医科大学・教授)	
17:00	17:15	0:15	未定	
閉会の辞				
17:15	17:25	0:10	閉会挨拶	Gunnar Duttge(グンナー・デュトゲ)(ゲッティンゲン大学・教授)

【開催趣旨】

高齢化が進む現代社会において、人々が自らの死にどのように向き合っていくのか、終末期医療はどのようにあるべきか、そして、法制度はどのようにあるべきかといった問題は、いまや世界各国における共通にして喫緊の課題です。我が国では、医療現場の実務に対応すべき法理論の構築が進んでおらず、法的な制度が十分に整っていないという現状があります。これに対し、ドイツでは、事前指示書の法制化や尊厳死の許容など、法的な制度化が進んでいます。同時に、ドイツ語圏諸国では、臨死介助協会の援助を受けた自殺も増加しており、この問題に対処するため、ドイツでは「業としての自殺援助」という新しい犯罪類型が制定されるに至っており、大いに議論されています。

このような状況を踏まえて、このたび、日本比較法研究所では、終末期医療と安楽死・尊厳死の問題について比較法的な検討を行うべく、日独両国から「生命倫理と法」に関する第一線の研究者をお招きしてシンポジウムを開催致します。シンポジウムでは、現代における人の死の有り様と終末期医療をめぐる総合的な問題についてその解決の糸口を探るべく、日独両国の専門研究者による比較法的観点からの検討をもとに、会場の参加者の皆さんとご一緒に考え、議論を深めます。

詳細・参加申し込みにつきましては、本研究所のウェブサイトをご覧ください。

【登壇者】

Jan Grotheer (ヤン・グロテアー) (DJJV・会長)
Gunnar Duttge (グンナー・デュトゲ) (ゲッティンゲン大学・教授)
Ludger Honnefelder (ルトガー・ホネフェルダー) (ボン大学・名誉教授)
Eric Hilgendorf (エリック・ヒルゲンドルフ) (ヴェルツブルク大学・教授)
Henning Rosenau (ヘニング・ロゼナウ) (ハレ大学・教授)
Brigitte Tag (ブリギッテ・ターク) (チューリヒ大学・教授)
Karsten Gaede (カーステン・ゲーデ) (ブツェリウス・ロースクール・教授)
Melanie Steuer (メラニー・シュトイヤー) (ゲッティンゲン大学・助手)
Liane Wörner (リアーネ・ヴェルナー) (コンスタンツ大学・教授)
伊藤 壽英 (ITO, Hisaei) (日本比較法研究所・所長)
只木 誠 (TADAKI, Makoto) (中央大学・教授)
高橋 直哉 (TAKAHASHI, Naoya) (中央大学・教授)
古田 裕清 (FURUTA, Hirokiyo) (中央大学・教授)
井田 良 (IDA, Makoto) (中央大学・教授)
石山 文彦 (ISHIYAMA, Fumihiko) (中央大学・教授)
鈴木 彰雄 (SUZUKI, Akio) (中央大学・教授)
曲田 統 (MAGATA, Osamu) (中央大学・教授)
天田 悠 (AMADA, Yu) (香川大学・准教授)
佐伯 仁志 (SAEKI, Hitoshi) (東京大学・教授)
畝本 恭子 (UNEMOTO, Kyoko) (日本医科大学多摩永山病院救命救急センター・センター長)
甲斐 克則 (KAI, Katsunori) (早稲田大学・教授)
高山 佳奈子 (TAKAYAMA, Kanako) (京都大学・教授)
富川 雅満 (TOMIKAWA, Masamitsu) (九州大学・准教授)
松田 純 (MATSUDA, Jun) (静岡大学特任教授)
横田 裕行 (YOKOTA, Hiroyuki) (日本医科大学・教授)